

## 地域を支える役場と協力隊 ～未来を紡ぐ～



畑中 悠人 (はたなか ゆうと)

佐呂間町出身の私は自然に囲まれた環境で育ち、札幌のスポーツ専門学校で学んだ後、小清水町の地域おこし協力隊の求人を見つけました。2年間の運動指導やトレーニング経験を活かし、カフェやランドリーの仕事に挑戦したいと思い応募しました。また、小清水町の皆さんが運動やイベントを通じ、さらに元気になってもらえるよう、活動を通じて貢献したいと考えました。

### 【小清水町役場の魅力】

北海道・小清水町にある防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」は、日常と非常時の境界線をなくす「フェーズフリー」の考え方を軸に、地域住民と観光客の双方にとって安心で快適な空間を提供しています。この施設には、フィットネスジム、カフェ、ランドリーが併設されており、日常の豊かさを支えるとともに、万が一の災害時にも機能する地域の“拠点”としての役割を担っています。



防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」

まず、フィットネスジム (HOTUS) は健康増進の場で、有酸素運動や筋力トレーニング用のマシンを完備しています。地域初導入のホットスタジオでは、温泉熱を利用した温かい環境でのエクササイズが提供され、血行促進や代謝アップに効果的です。スタジオプログラムも充実しており、Group Powerやホットヨガ、バーチャルバイクを使用したサイクルプログラムなど、多彩なメニューが用意されています。また、非常時には地域の人々が安全に集まることができる「一時避難場所」としての機能を持ちます。普段から町民が体を動かし交流することで、顔の見える関係性が築かれ、災害時にも協力し合える土台が形成されています。また、ジム内には非常用電源が備えられており、停電時にも最低限の明かりや情報通信が確保されます。これにより、避難生活のストレスを軽減し、安心感を提供します。



フィットネスジム (HOTUS)

次に、カフェ (moimoi) は、日々の憩いの場として、また観光客が町の魅力を感じられる発信拠点として機能しています。じゃがいもの名産地である小清水町の魅力を存分に味わっていただけるカフェでは地元の農家さんが丹精込めて育てたじゃがいもを使用した、フライドポテトやコロッケなど、素材の味を生かしたメニューをご提供しています。フェーズフリーの視点では、このカフェが非常時には「炊き出し拠点」や「情報交換の場」として活用されます。備蓄された食材や調理機器は、災害発生時に簡易的な食事を提供するために転用可能です。



コミュニティスペース  
(にぎわいひろば)



カフェ (moimoi)  
【空間写真©2023Nacása&Partners Inc.】

次は、コインランドリー（Baluko Laundry Place）の存在は、アウトドア活動が盛んな小清水町のニーズに応え、モンベルと共同開発した「モンベル撥水コース」を国内で初めて導入。ダウンジャケットやレインウェア、寝袋などを手軽に撥水加工できるサービスを提供しています。さらに、農業が盛んな地域特性を考慮し泥汚れ専用洗濯機も設置されています。そして、ここのランドリーは24時間年中無休で営業しており、町民や観光客がいつでも利用できる利便性の高い施設です。災害時には、断水や停電で自宅の洗濯機が使えないことが想定されます。ワタシノのランドリーには非常用電源が備えられており災害発生後も可能な限り稼働を続けられるよう設計されています。これは単なるサービスではなく、衛生環境を守る「インフラ」としての側面を持っています。



コインランドリー（Baluko Laundry Place）

このようにワタシノは、「日常の便利」が「非常時の支え」へと自然に切り替わるフェーズフリーな設計思想によって、地域のレジリエンス（回復力）を高めています。施設そのものが災害時の拠点になるというだけでなく、日々ここに集い、活動する人々がコミュニティとして結びついていることが、ワタシノ最大の強みです。観光客もまた、その輪に加わることで、町の魅力と共に“安心の仕組み”を体験し、共有することができるのです。「特別な時の為の準備ではなく、日常がそのまま非常時にも機能する」ワタシノはその理念を体現し、これからの地域施設の在り方を示す先進的なモデルとして、小清水町に根ざしながら未来を見据えています。

## 【地域おこしとしての活動とその魅力】

私は現在、小清水町地域おこし協力隊（NPO法人グラウンドワークこしみず）の一人として防災拠点型複合庁舎“ワタシノ”の中に併設されているフィットネスジム、カフェ、ランドリーの施設を運営するスタッフとして活動しています。

ほかにも、年に数回隊員で協力してイベントを企画・運営もしています。昨年は、1周年イベント、クリスマスイベントを行いました。1周年イベントでは、カフェのコロケを使用してビュッフェ形式でコロケパンを販売、コーヒー講座、ランドリーの洗濯講座など開催しました。クリスマスイベントでは、子どもたちが楽しめる縁日（射的や輪投げなど）、BINGO大会を開催して町民の方々も「楽しかった」「来年もやって欲しい」などたくさんのありがたいお言葉をいただきました。今年度は町の職員の方たちとも協力して町民の方に楽しんでいただけるイベントを考案中です。

## 【まとめ】

北海道の東部、オホーツク海に面した小清水町は、自然の美しさと温かい人々が魅力の町です。春から夏にかけては、緑豊かな草原と鮮やかな花々が広がり、秋には紅葉が山々を彩ります。冬には白銀の世界が広がり、スノーシューや流水観光など、北海道らしい体験も楽しめます。特に人気なのが小清水町原生花園。季節ごとに咲く野の花が、訪れる人の心を癒やしてくれます。周囲には知床連山や<sup>とうみつこ</sup>瀧沸湖、阿寒湖など有名な観光地も多く、拠点としても便利です。また、地元の食材を使った料理や、地域の人々との交流もこの町の大きな魅力。そんな小清水町では、観光客の皆さまに快適で思い出深い滞在を楽しんでもらえるよう、役場も積極的に地域の魅力発信や観光情報の提供に取り組んでいます。観光案内所や道の駅「はなやか（葉菜野花）小清水」では、地域の特産品や旬の情報を手にいれることができ、初めて訪れる方でも安心です。知床や網走へのアクセスも良く、旅の拠点としても最適な小清水町。自然に癒やされ、地域の人々とのふれあいを楽しむ旅に、ぜひ一度お越しください。小清水町とワタシノが皆さまの訪れを心よりお待ちしております。